

特定非営利活動法人 町田発・ゼロ・ウェイストの会 第24回理事会議事録

- 1 日 時 2011年10月27日(木曜日) 19:00~21:00
- 2 場 所 小山田桜台センター集会場
- 3 出席者数 5名
- 4 出席者氏名 広瀬 谷仲 仲村 斎藤(運営委員) 片倉(監事)
- 5 審議事項

- (1) 生ごみ堆肥を利用した稲作
- (2) 生ごみを利用した堆肥作りとその普及
- (3) ゼロ・ウェイスト通信の発行
- (4) ゼロ・ウェイスト勉強会
- (5) 容器包装リサイクル法に関する院内集会
- (6) ホームページの更新
- (7) NPOのあり方
- (8) その他

6 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 第33条の定めにしたがい、議長は廣瀬理事長が務めた。書記に谷仲が選任された。
- (2) 生ごみ堆肥を利用した稲作
10月29日に脱穀を行う予定。その際に稲の放射能測定を行う。大谷公二氏に脱穀機の借用と指導をお願いした。また、粃すりまでの一次保管と粃すりを11月12日をお願いする。
次年度以降の稲作は人手の確保が難しいため行わない旨を大谷公二氏および谷合秀雄氏に伝えた。
年度末までに東谷戸たんぼプロジェクトの看板は撤去する。
- (3) 生ごみを利用した堆肥作りとその普及
町田市から剪定枝チップの放射能汚染の心配がなくなったと公表されれば、農家に利用してもらいやすくなる。
農家に生ごみ堆肥で遜色なく栽培できる(又は、できない)ことを実証してもらえればよい。
- (4) ゼロ・ウェイスト通信の発行
1月初旬発行。
放射能測定結果(広瀬) 田んぼ=稲刈り・脱穀・餅つき(片山) 勉強会報告(中村) リサイクル広場桜台(斎藤)
- (5) ゼロ・ウェイスト勉強会
11月13日に南町田で開催。資料印刷(仲村) ゼロ・ウェイストってなに?と生ごみ循環のパンフレットを用意する。
他地域での開催を呼びかける。鶴川地区(富岡氏)=仲村 山下議員を通して=広瀬
- (6) 容器包装リサイクル法に関する院内集会
10月25日の上記集会で次のような報告があったことが報告された。
「容器包装リサイクル法見直しと発生抑制と再使用を促進するための仕組みの検討を求める国会請願書」の国会請願に、394,165筆の署名が提出され、衆議院と参議院の環境委員会で全会一致で採択された。
- (7) ホームページの更新
10月末の更新に向け担当者が記事を小山氏に送る。
- (8) NPOのあり方
NPO法人として活動を続けたほうがよいのか議論を行い、次のような意見が出た。収集した情報を発信していくことが役割としてある。情報を出し続けることにより寄付を募りやすくなる。助成金を受けて活動ができる。町田市のゴミ関連事業の広報を受託して活動費を得るように働きかけても良いのではないかと。
- (9) その他
3.11の被災地の瓦礫受け入れを町田市はどのように対応するのかを問い合わせる。
全国の自治体に瓦礫受け入れの要請が来ていることをホームページで公表することを検討した。

次回は 12月 6日(火)19:00~21:00

7 議事録署名人の選任に関する事項

上記理事会議事の議事録署名人として、仲村達郎を選任した。
以上、この議事録が正確であることを証します。

年 月 日

議 長

印

議事録署名人

印